

巻頭言：コロナ禍での県図書館協会の役割について	1
令和4年度 神奈川県図書館協会総会開催報告	2
表彰受賞者	2, 3
事業計画、予算	4
役員名簿、委員会名簿	5
連載：わたしのイチオシ	
神奈川大学図書館 ～改修工事を経て生まれ変わった横浜図書館～	6
令和4年度 人材育成事業	7

コロナ禍での県図書館協会の役割について

神奈川県立図書館協会長（神奈川県立図書館長）塩田 弘志

本年4月より神奈川県図書館協会長に就任しました神奈川県立図書館長の塩田です、どうぞよろしくお願いいたします。

神奈川県図書館協会は、昭和3年（1928）に設立され、90年以上の長い歴史を有し、本年4月1日現在、会員は施設会員135館、個人会員12名で構成されており、調査研究や広報活動、図書館員の研修など、図書館活動の振興と利用者サービス向上等のため、様々な活動を展開してきております。

いわゆるコロナ禍のため、令和3年度の協会の活動も大幅な制約を受けてしまいましたが、各委員会では、オンライン形式での開催などの工夫をこらして活動を行い、一定の成果を収めたと伺っております。

新型コロナウイルス感染症の流行は、未だ完全に終息する気配はありませんが、この間、オンライン形式の活用により、感染対策だけではなく、集合場所への往復の時間が不要になるなど、業務の効率化への一定の効果も現れておりますので、

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、対面やそれ以外の方法を使い分けて各委員会活動などを実施するなど、質の高い活動を継続していく工夫を行ってまいりたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、経済をはじめ、社会全体に大きな影響を与えており、私たちの日常生活にも大きな制約が加えられている状況が長く続いております。

しかし、そうした中であっても、人の学びを止めないことは、とても大切なことであり、人の学びを支援する「知の拠点」としての図書館の果たす役割は大きなものがあると思います。

そして、「知の拠点」である図書館の活動を応援していく私たち協会の果たす役割は、大変意義深いものと認識しております。

本年度も、協会として県内図書館の発展に向けて、新型コロナ感染症対策をしっかりと行うとともに、様々な活動を積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解とご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 神奈川県図書館協会総会開催報告

令和4年度神奈川県図書館協会総会は、昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4月15日（金）～4月29日（金）に書面にて開催しました。

書面総会では、2点の審議と2点の報告を行いました。審議事項である令和3年度事業実施結果及び決算について、令和4年度事業計画（案）及び予算（案）については、原案通り承認されました。報告事項は、令和3年度会員の入退会状況報告、令和4年度人材育成事業についてでした。これに対し、反対意見等は特にございませんでした。

また、昨年同様、例年総会と同時開催している表彰式も中止とし、表彰状と副賞をお送りすることとなりました。会員施設に20年以上勤務した永年勤続職員9名、神奈川県図書館協会及び県内図書館事業に尽力し、功績のあった功労者3名、功労団体6団体を表彰いたしました。

令和4年度 表彰受賞者

★永年勤続職員 9名

中村 史子（横浜市中央）、橋本 有香子（横浜市金沢）、碓井 恵子（横浜市鶴見）、小島 久和（川崎市立中原）、逸見 義顕（関東学院大学）、堀込 里恵（専修大学）、寺久保 明子（東海大学伊勢原）、青山 史絵（東洋英和女学院大学）、加藤 博信（県立神奈川近代文学館）

★功労者 3名、6団体

（ ）内は推薦施設名

○ おはなしくまさん（横浜市港南図書館）
港南図書館で乳幼児向けのおはなし会を開催しているグループ。体調が変化しやすい年齢の子どもをもつ親が参加しやすい形態にしたいという思いから、自由参加のおはなし会として始まりました。現在は月に2回、「0歳から」と「2歳から」の2回に分け、年齢に合わせて、わらべうたや絵

本の読み聞かせ、パネルシアター等、赤ちゃんから楽しめるプログラムを開催しています。

○ 石川 道子（横浜市都筑図書館）

児童文化研究家。幼稚園教諭を経て、昭和50年代頃から現在まで、家庭文庫の主宰や、学校や幼稚園等でのわらべうたや読み聞かせの活動を続けられてきました。

また、横浜市をはじめとする全国の図書館等施設で、わらべうたや読み聞かせの大切さを伝える講演やボランティア育成講座を行い、数多くのボランティアを育ててきました。また、図書館司書を対象にした読み聞かせやストーリーテリングなどの講習会で講師として活躍されており、横浜市立図書館でも長年講師として活躍されています。平成29年度社会教育功労者表彰を受賞。共編著書に『ぼくの絵本 わたしの絵本』（プランニング遊）がある。

○ つづき図書館ファン倶楽部

（横浜市都筑図書館）

2000年の横浜市都筑図書館5周年記念シンポジウムに参加した市民が集まり、図書館や区役所との協働で「特色のある図書館づくり」を目指して発足した団体。準備会の時代から現在まで、図書館と協働で講演会や展示などのイベントの開催のほか、他市図書館の見学会、市長との懇談会なども実施してきました。

2012年には、ファン倶楽部と図書館と関連する他団体で「都筑図書館から未来を描く協働の会（TMEK）」を立ち上げ、図書館・区役所と毎月の定例会で意見交換をしながら、秋の大型イベント「つづきブックフェスタ」を開催しているほか、読書文化を支える活動を地域に広げており、図書館にとって欠かせない協働パートナーとなっています。

○ おはなしネットワーク かたらんらん

（横浜市都筑図書館）

都筑区役所主催の絵本・紙芝居・語りなどについて

て学ぶ講座『Lets go 語り』の受講者により、平成8年に結成されたグループ。絵本や昔話、創作などのおはなしについて自ら学ぶとともに、その魅力を読み聞かせやストーリーテリング（素話）、紙芝居などを通して子どもたちや大人たちに伝え広げる活動を続けてきました。都筑図書館でのおはなし会のほか、都筑区、青葉区を中心に、民家園、子育て支援センターなど様々な施設でも活動しています。また、定例会のほか、勉強会・講演会の実施や、人形や紙芝居なども協力して制作しています。

○ おはなしのいずみの会（横浜市泉図書館）

泉図書館で開催したボランティア養成講座から立ち上がった読み聞かせのボランティアグループ。毎月勉強会を重ね、読み聞かせ技術の研鑽に努めています。泉図書館で毎月第一土曜日に開催する子ども向けおはなし会「土曜おはなし会」の開催や、大人向けの「おとなが楽しむおはなし会」（年2回）へ協力。発足以来長年に渡り、泉図書館の読書活動を継続的に、積極的に支えてくれている団体です。

また、10年以上にわたり、外国につながる子どもたちを対象とするおはなし会の開催に協力しているほか、活動は図書館に留まらず、行政や、地域の小学校、幼稚園等、児童・幼児施設まで多岐にわたります。

○ 茅ヶ崎図書館・子どもの本の会

（茅ヶ崎市立図書館）

平成12年に開催された読み聞かせ講習会のメンバーが集まり、平成13年9月に設立された団体。長年、自己研鑽を重ねながら、図書館において定期的に小さい子～小学生向けおはなし会を開催してきました。子どもが様々な本に触れる機会を提供し、子どもの読書活動の普及と啓発に尽力しています。

また、学年別に本の紹介紙「よんでネット」を継続して年4回編集・発行しており、図書館をはじめ、小・中学校においても参考資料として活用されています。

さらに、読み聞かせボランティア育成のために、図書館において読み聞かせ講習会やストーリーテリング講習会の講師として活動するなど、図書館との連携に積極的に協力し、地域の小・中学校の読書活動の中心的存在として読書活動の充実と啓発に尽力しています。

○ 斎藤 由佳里（秦野市立図書館）

絵本の読み聞かせなどを行うボランティアグループ「おはなしころりん」の一員として、小学校や福祉施設、図書館のおはなし会や秦野市のブックスタート事業などで長年活動してこられました。その実績をもとに、平成13年6月から令和3年8月まで秦野市図書館協議会委員として、秦野市立図書館の運営や様々なサービスへの御意見・答申をいただき、秦野市の図書館事業に長きにわたり貢献されました。

○ おはなし 青い鳥（南足柄市立図書館）

南足柄市女性センター図書室でのおはなし会のほか、南足柄市立図書館で1、2歳児向けおはなし会、「大人におくるおはなし会」などを開催し、幅広い年齢層に向けておはなし会を実施しています。他にも、子ども読み聞かせ講座や、おはなしボランティア養成講座の講師、図書館行事の手伝い等を行うなど、図書館事業に対し20年間継続して貢献しています。

○ 清水 実佐子（大井町図書館）

図書館事業の「絵本とわらべうたの会」の講師として平成4年10月から令和3年3月まで28年間指導されました。4月以降は、後任の講師と一緒に「絵本とわらべうたの会」の協力をされています。また、図書館にて読み聞かせボランティア養成講座の講師や、町内幼稚園で図書ボランティア向けにわらべうたの伝承や選書指導等の活動も行っています。行政からの要望に応えるだけでなく、子どもたちが楽しんで読書ができる環境づくりをする担い手として、町の子どもの読書活動に貢献されています。

令和4年度 事業計画

- 1 協会の運営・連絡
 - (1) 総会の開催
 - (2) 理事会の開催
 - (3) 企画委員会の開催

- 2 調査研究事業
 - 図書館及び図書館資料に関して、次の調査研究を行う。
 - (1) 県内図書館の地域資料等の調査研究（地域資料委員会）
 - (2) 大学図書館加盟館間の情報交換と調査研究（大学図書館協力委員会）

- 3 研修事業 読書推進事業
 - 館員の資質の向上を図るための研修の企画
 - (1) 研修委員会の開催
 - 研修活動の運営
 - (1) 見学（国会図書館等、公共図書館、大学図書館）
 - (2) 講座（大学図書館研修、窓口サービス、レファレンスサービス、図書館利用の促進等）
 - (3) 児童担当者向け（児童サービス 等）
 - (4) その他
 - 読書推進活動
 - (1) 子ども読書活動推進フォーラムを県立図書館と共催する。

- 4 広報活動事業
 - 図書館活動についてPRを行う。
 - (1) 広報委員会の開催
 - (2) 「神奈川県図書館協会報」第279号～第282号を発行する。
 - (3) 協会ホームページのメンテナンス作業を実施する。
 - (4) 図書館総合展 オンライン参加
2022年11月1日 - 11月30日 予定
 - (5) その他協会活動についてPRを行う。
 - 「神奈川の図書館2022」を刊行する。

- 5 表彰事業 共催・後援事業
 - 永年勤続職員及び県内図書館の功労者に対して表彰を行う。
 - 県内図書館事業の振興を図る上で特に有意義な事業の奨励（共催・後援）

- 6 人材育成事業
 - 特定の研修への参加助成金を交付する。
 - 研修結果を会員へ周知する。

- 7 加盟館の相互協力事業
 - 共通閲覧証による相互利用（加盟大学図書館間）

令和4年度 予算

<一般会計>

収入 (円)

分担金等	各館分担金	1,512,000
収入	個人会員会費	36,000
	日図協団体活動費	114,400
	前年度繰越金	1,466,012
繰越金	雑収入	17
雑収入		
合計		3,128,429

支出 (円)

事務費	事務局費	372,000
事業費		
会議費	会議費	0
調査研究費	調査研究費	123,900
	館員等研究費	407,000
広報活動費	会報等発行費	764,800
	総合展費	264,000
表彰費	表彰費	152,000
記念事業等特別会計繰出金		0
予備費		1,044,729
合計		3,128,429

令和4年度 役員名簿(令和4年4月1日)

会長	塩田 弘志 (県立)
副会長	下澤 明久 (横浜市中央)
	水島 久光 (東海大学付属)
理事	若杉 恵子 (県立)
	鈴木 豊 (県立川崎)
	小田川 紀可 (横浜市中央)
	小島 久和 (川崎市立中原)
	栗原 章郎 (鎌倉市中央)
	塚本 志穂 (逗子市立)
	飯田 京子 (座間市立)
	稲垣 和雄 (綾瀬市立)
	市川 雅之 (藤沢市総合市民)
	佐藤 聡 (大磯町立)
	佐次 安一 (小田原市立中央)
	百瀬 幸子 (関東学院大学)
	村田 輝 (横浜国立大学附属)
	松村 敏 (神奈川大学)
	田中 啓之 (相模女子大学附属)
	石川 義弘 (横浜市立大学)
	今部 一良 (公文書館)
監事	浦邊 哲 (議会図書室)
	柴田 育江 (県政情報センター)
[事務局]	
事務局長	森谷 芳浩 (県立)

令和4年度 委員会名簿 (◎は委員長)

<企画委員会>

- ◎小田川 紀可 (横浜市中央)
- 市川 雅之 (藤沢市総合市民)
- 佐次 安一 (小田原市立中央)
- 栗原 章郎 (鎌倉市中央)
- 逸見 義頭 (関東学院大学)
- 小泉 正晴 (公文書館)
- 柿澤 淳子 (県立)
- 山内 正伸 (横浜市中央)
- 平井 久美子 (東海大学付属)

<広報委員会>

- ◎市川 雅之 (藤沢市総合市民)
- 伊津美 泉 (県立)

- 野原 淳 (横浜中央)
- 石井 里枝 (県立川崎)
- 山本 秀行 (川崎市立高津)
- 安藤 弘和 (藤沢市総合市民)
- 齋藤 美帆 (相模原市立相模大野)
- 村田 輝 (横浜国立大学附属)
- 小池 孝昌 (神奈川大学)
- 青山 香澄 (県立保健福祉大学実践教育センター)

<大学図書館協力委員会>

- ◎百瀬 幸子 (関東学院大学)
- 村田 輝 (横浜国立大学附属)
- 堀江 美由紀 (神奈川大学)
- 古越 奈央 (相模女子大学附属)
- 河西 徹 (横浜市立大学)
- 牧 幸男 (鶴見大学)
- 平井 久美子 (東海大学付属)

<地域資料委員会>

- ◎佐次 安一 (小田原市立中央)
- 飯田 朋子 (県立)
- 大家 翔平 (横浜市中央)
- 植原 由佳 (川崎市立中原)
- 深水 賢一 (横須賀市立中央)
- 高橋 哲 (海老名市立中央)
- 瀧 有飛 (横浜市立大学)
- 宇佐美 恒城 (近代文学館)

<研修委員会>

- ◎栗原 章郎 (鎌倉市中央)
- 高田 泰子 (県立)
- 辻 祥弘 (横浜市中央)
- 荒谷 宏美 (県立川崎)
- 盛岡 絵理 (川崎市立宮前)
- 西部 香織 (鎌倉市玉縄)
- 渡邊 康司 (相模原市立)
- 山口 友理子 (大和市立)
- 腰越 未樹 (平塚市中央)
- 國分 雪 (茅ヶ崎市立)
- 府川 伊久枝 (伊勢原市立)
- 峯 絵里子 (湯河原町立)
- 島田 知砂 (相模女子大学附属)
- 牧 幸男 (鶴見大学)
- 宇佐美 恒城 (近代文学館)

連載 わたしのイチオシ

神奈川県立図書館 ～改修工事を経て生まれ変わった横浜図書館～

神奈川県立図書館は、横浜・平塚・みなとみらいの3キャンパスにあり、150万冊以上を所蔵している図書館です。なかでも横浜キャンパスにある横浜図書館は、中央館的役割を担う図書館です。創立50周年記念事業として1980年に建設されましたが、近年は経年劣化等に悩まされてきました。

そこで2021年、約1年間に渡り、神奈川県立図書館創立100周年に向けた将来構想、キャンパス新総合計画の一環として改修工事を行いました。閉架の地下書庫を除いて地上階は完全に閉館して改修工事を行ったため、キャンパス内の別の校舎の一部を仮設図書館とし、2万冊のみ配架しました。それ以外の資料はダンボールに梱包して教室に仮置きし、そこから出納して利用者に提供しました。



無事改修工事を終え、2022年4月に何とかリニューアルオープンにこぎつけることができました。生まれ変わった横浜図書館は、レンガ調の外観はほぼそのまま残したうえで、老朽化した設備を更新し、徹底した漏水結露対策及び耐震補強を行いました。壁や天井を取り払い館内のレイアウトや機能の見直しも行いました。什器も一新し、21世紀型の総合学術センターとしての役割を果たしうる図書館へと生まれ変わりました。

地上4階建ての建物は、上層階に行くほど静か

なエリアとしてゾーニングし、什器や照明もフロアコンセプトに合わせて選定しました。

1階にはグループで学習できる様々なパターンの席や、ゼミやプレゼンテーションを行うガラス張りのグループワークルームを設置し、活動を可視化しお互い刺激になるような空間にしました。また長時間滞在に対応できるよう、飲食可能なラウンジを新たに設けました。既存の中庭は休憩用のテラスとして整備し、テラスに続く畳の小上がりには円卓や座布団、将棋盤等を設置し、リフレッシュできるメリハリある空間を提供しています。

2階は新しい図書館の中心となるフロアです。出入口を新設し、ワンストップの総合カウンターを設けました。フロア中央にある2階から4階までの吹抜け空間にはブックウォールを設け、本学で生み出された教育研究成果を可視化する意味で学位論文を配架し、開放的なスペースとしました。今後この場所ではライブラリーコンサート等のイベントを行う予定です。

3階4階は知の空間として書架に囲まれた閲覧席を設置しました。各閲覧席には学生のニーズを反映させて、コンセントは1席になるべく2口設け、荷物を置けるラックやフック等も設置しました。4階は特に静かで落ち着きのある熟考の場として予約制の個人ブースも設置しました。

なお館内の座席予約にはスマートフォンアプリを導入しました。本学のみなとみらい図書館で先行導入しているスマートフォンアプリによる図書の出借も9月後期以降に導入する予定です。これらのICT化でその余剰となるマンパワーを相談業務等の学修支援に充てる予定です。

<https://www.kanagawa->

[u.ac.jp/pressrelease/details_23307.html](https://www.kanagawa-u.ac.jp/pressrelease/details_23307.html)

(神奈川県立図書館 吉場千絵)

神奈川県図書館協会 令和4年度 人材育成事業

神奈川県図書館協会では、2018年に迎えた創立90周年を記念し人材育成事業を行っています。

この事業では、外部団体の研修へ参加する機会を増やし、会員の資質向上を図り、神奈川県全体の図書館司書の力量を高めることを目的に、会員のみなさまを対象に、2019年度～2023年度までの5年間、あらかじめ定められた研修に参加する際の経費を全額または一部助成します。

令和4年度助成対象事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業が中止となった場合、対象から除外します。

対象事業	開催日
① 専門図書館協議会全国研究集会	7月20日(水)～21日(木)
② 全国図書館大会(群馬)オンライン開催	10月6日(木)～7日(金)
③ 関東・甲信越静岡地区 図書館地区別研修(茨城)	11月29日(火)～12月2日(金)
④ 全国公共図書館研究集会<サービス、総合・経営部門>(福井)	10月27日(木)～28日(金)

※ ③以外は全日程参加(情報交換会等は除く) ③は概ね3日以上に参加を原則とする。

(研修日程の概ね4/5以上を受講し、研修成果について、研修終了後2週間以内にレポート(1,200字程度)を提出した者に修了証書が授与されるため)

募集人数(目安)

対象事業	募集人数
① 専門図書館協議会全国研究集会	2名
② 全国図書館大会(群馬)オンライン開催	3名
③ 関東・甲信越静岡地区 図書館地区別研修(茨城)	3名
④ 全国公共図書館研究集会<サービス、総合・経営部門>(福井)	3名

※ 定員に達しない場合、追加募集する可能性がある。

※ オンライン開催等の場合、人数を増やす可能性がある。

助成対象者

神奈川県図書館協会加盟館に勤務する職員であること。

ただし、過去に当該助成を受けたことのある職員は除くものとします。

対象事業① 募集時期 6/8(水)～6/17(金)

対象事業②～④ 募集開始時期 未定

※別途、詳細な募集要項を協会ホームページでお知らせします。

多くのみなさまのご応募をお待ちしています!